

きずな

平成25年3月発行
石垣エスエスグループ
総務部広報室編集局
石垣市登野城69番地
Tel: 0980-84-1738
http://issg.co.jp

ちよぎタイム
「また夜…かな？」

日の出が遅い！
毎年冬のこの時期になるといつも感じてならないのが「どうにもこうにも日の出の時間が遅い」ということだ。

目が覚めてみるとまだ外は真つ暗、起きる時間を間違えたかと思わず時計を確かめてしまうこともしばしばだ。

さて、ご存知の通り、一年でいちばん日の出が最も遅くなるのが冬至（十二月二十二日頃）、このときの日の出の時間は石垣島では午前七時三十分頃だということだ、そろそろ出勤時間かなという時になってやつと日が昇ってくるというタイミング、本土と比べると明らかに日の出・日の入りが遅く、日本列島の反対側、北海道の根室はどうかというところ、夏の日の出が午前三時、冬の日の出が午後三時、四時、ここまで差があるとアメリカのように国内に時差があっても不思議ではないなと思っていたらホントにありました。

時は日清戦争後、台湾を日本が植民地としていたその昔は現在の標準時よりも一時間遅い西部標準時という設定があり、宮古・八重山・台湾・澎湖列島は四十年ほどこの時刻を使っていたこともあったとか、冬の朝、夏の夜を思うと北部・中部・南部くらの時差の設定があったとしても、これはこれで理にかなっていると思うのですが結局なくなってしまうことなどは、やはり国内に時差があるとややこしいことなのではないでしょうか。



とは言いながら、「暗くても明るくても言い訳をしていないでちゃんと朝は早起きをしましょう。」ということですね。

あきお

「新石垣空港開港記念キャンペーン」

石油事業部・エネオスSS

新石垣空港の開港を記念して『どど〜ん』とやっちゃいます。

石垣市内エネオス七店舗では二〇〇〇円以上お買い上げのお客様から十名様に、抽選で石垣「那覇往復航空券」がその場で当たるキャンペーンを開催中です。

景品の航空券がなくなり次第抽選は終了とさせていただきますので、早目がお得。

さあ皆様大急ぎでエネオスSSへ。

エンジンオイルやタイヤも激安特価で大サービス中、仕上がりには絶対の自信ありのFK洗車も是非お試しください。春の行楽シーズンを間近に迎えて愛車のお手入れは今が最適です。

エネオスSSではお客様の愛車のスピード点検も行っています。スタッフにお気軽にお声をおかけください。



「第十一回 花と緑の街角コンテスト」

心算のおおぞせ・メイワの石垣店

育てて！感じて！楽しんで！花と緑の輪を作ろう

今年もこの季節がやってまいりました！

皆様のおかげをもちまして「花と緑の街角コンテスト」も第十一回を数えることとなりました。

八重山郡域内で「花と緑に彩られている街角づくり」を行っている個人、職場（学校は除く）、とおり会の皆様に自薦、他薦を問わず、自慢の「花と緑の街角写真」を撮ってご応募していただき、優秀作品を八重山毎日新聞紙面でご紹介いたします。

ご応募受付期間：平成二十五年二月三日（日）〜三月九日（土） 当日到着分有効となります。

皆様がたくさんのご応募を心よりお待ちしております。



『職場放浪記・スーパーホテル石垣島 山森 陽平との巻』

スーパーホテル石垣島の山森です。昨年、十月十一日にオリックスレンタカーから異動して約4ヶ月が経過しました。

その間、ホテルという職場を通して感じた事を書き綴ってみました。

まず、私は前職が食品会社の営業だった事もあり、ホテルという職場には様々な形で関わってまいりました。

その時にお付き合い頂いたホテルマンスタッフは多部門に渡り、営業、調達、売店、サービススタッフ、調理、レジャー、フロント等々、大なり小なり様々な形でお世話になり、お付き合いさせていただいた事で、ホテルという職場は「お客様の宿泊機会を通じてサービスを提供する」ということを教えていただきました。

一口で、「部屋とサービスを提供する」とは言いますが、オペレーションは多岐に渡り、納品をはじめ施設管理や保守管理等、業者様の維持管理のお手伝いがあるからこそ、お部屋をお客さまに「提供できるようにあります」。

そこからホテルスタッフの出番です。ホテルスタッフはお客様のさまのチェックインからチェックアウトまで、快適に過ごしていただけるようキッチンと流れを組み上げていくことが最大の仕事です。

来館されたお客さまへの「いらっしゃいませ」の挨拶から始まり、ホテルを出入りする際の鍵の受け渡し、レストランでの朝食を円滑に取っていただくための膳の上げ下げ、そしてチェックアウトの際の「いってらっしゃいませ」のお見送り。それらを一つ一つ、365日毎日繰り返すので単調なように思われがちですが、そんなことはありません。

泊まるお客さまは老若男女お一人一人の性格も違えば、それによってお客さまが求められるサービスもまた全く別なものとなることができます。

お客さまが求めているサービスを「会話」や「雰囲気」を通じて察知し、新しい発見と試行錯誤、反省を繰り返しながらより良いサービスを提供し続けていく事こそがホテル業の醍醐味であり、毎日新鮮な気持ちで迎えられる原動力なのだと感じています。

未だ4ヶ月しか経っていませんが「君がいるからまた泊まりに来たよ」とお客さまから言われるよう、これからも日々切磋琢磨してまいります。

